

## 平成28年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	杉山博一
全体計画				経費区分		実施計画事業費		内線			3335
事業事業名	4110 健康診査事業										
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課										
施 策	01010100 健康づくりの充実										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費									
	事業	040000 健康診査事業									
事業目的	事業概要・効果										
後期高齢者健診、各種がん検診等を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努める。	<p>後期高齢者健診、各種がん検診等を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者健診：75歳以上の市民に対し、個別・集団で実施。</li> <li>・各種がん検診：対象年齢の市民に対し主に集団で実施</li> <li>・乳がん超音波検診や肺がんCT検診を導入するなど、精度の高い検診を行うことにより、早期発見、早期治療に繋げることができる。</li> <li>・市民が受診しやすいよう、胃検診・大腸がん検診は地域を巡回して実施している。</li> </ul>										

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
後期高齢者健診の実施 がん検診：がん発見者数 胃5人、大腸9人、乳房2人、マンモグラフィ2人、肺2人、前立腺4人	後期高齢者健診の実施 各種がん検診の実施 胃内視鏡検診の導入について検討を進める。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	胃がん検診の受診率				
算式	胃がん検診受診者数 ÷ 胃がん検診受診対象者 × 100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標 40				
実績					
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある				
最終年度目標の根拠	国 の目標値である40%とする				
指標名	大腸がん検診の受診率				
算式	大腸がん検診受診者数 ÷ 大腸がん検診受診対象者 × 100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標 40				
実績					
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある				
最終年度目標の根拠	国 の目標値である40%とする				
指標名	肺がん検診の受診率				
算式	肺がん検診受診者数 ÷ 肺がん検診受診対象者 × 100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標 40				
実績					
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある				
最終年度目標の根拠	国 の目標値である40%とする				

## 事業費

(単位 : 千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		93,464	99,952
特 定 財 源	国庫支出金	530	534
	都道府県支出金	4,457	4,606
	地方債	0	0
	その他	5,437	23,530
一般財源		83,040	71,282
人 員 数 (人)	正規職員	0.8	0.8
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.5	0.5
	計	5,766.4	5,766.4
人 員 コ 料	正規職員	811.5	811.5
	嘱託職員	515.0	515.0
	計	7,092.9	7,092.9
	市民一人当たりの経費	1.9	2.0
総額		100,556.9	107,044.9

(単位 : 千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	930	消耗品費137、食糧費8、印刷製本費785
13節 委託費	81,179	電算委託料1,757、その他委託料79,422
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	6,523	負担金568、補助金5,955
その他	4,832	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,049	消耗品費140、食糧費9、印刷製本費900
13節 委託費	86,709	電算委託料1,753、その他委託料84,956
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,177	負担金577、補助金6,600
その他	5,017	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るために市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	市民の生命・健康を守るために必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	市民の生命・健康を守るために有効 受診率は目標に達していない	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	効率的に実施している	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

健診・検診に受診率向上に向けた取り組みが必要

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	2次評価	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	2次評価コメント			
胃検診の内視鏡健診の導入について、須高医師会と須坂病院に協力を得て検討していく。	悪性新生物に係る、医療費や死亡が増加する中で、検診未経験者へのアプローチを工夫し、早期発見・早期治療に結びつける。			

**外部評価**

次年度以降の方向性
外部評価コメント